

週替わりで一息!!

第2049回 (第60版)

今回の二十四節気・七十二候 (にじゅうしせつきしちじゅうにこう)

秋分(しゅうぶん) 「昼夜の長さがほぼ同じになる『歴便覧』では、「陽気とどまりて中分なれば也」と説明していますが、実際は、昼の方が夜より14分ほど長い。これは大気差約2分20秒、太陽の視直径差1分5秒、日周視差と春分の差の平均は影響を与えないのでない、日の出は3分25秒早く二と没は2分25秒おそくなる。したがって昼の長さは12時間7分夜の長さは11時間53分である。4日後あたりが最も差が無いようです。秋分の日を中心とした一週間が秋のお彼岸です。

wikipedia・七十二候で楽しむ日本の暮らしより

初候「九月二二日～九月二七日」雷乃収声 (せかみなりすなわちこえをおさむ) 46

「雷が鳴り響かなくなる」夏の間には鳴り響いた雷が収まる頃。空にはもこもことした鱗雲があらわれます。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉の通り、残暑も落ち着き、秋の気候へと変わっていきます。秋分の日にはおはぎがお供えされます。春分の日にはぼた餅がお供えされますがこの二つは同じものです。

和暦コラム歴生活より

20年前の主なニュース (1996年9月16日～9月23日 福井新聞縮刷版より)

- ・「ドジャース野茂英雄投手ノーヒットノーラン」日本人で初の快挙。
- ・もんじゅ事故で初の中間報告事故時のナトリウム反応は想定外など。

20年後ついに廃炉決定か？

「本日9月9日の金曜日」《ガバナー公式訪問 事前クラブ協議会》司会：安田会長



■ 2016～2017年度年クラブ活動計画に基づき、各役員・理事・委員会の活動方針、事業計画の発表 ■



「本日のニコニコ」
はこの方です